

大学名 三重大学

第74号 特集タイトル  
「未来社会に向けた教員養成」

表題 教員養成を介した地域貢献：地域で育てて地域に戻す教員養成サイクルの構築

### 教員養成を通じた地域貢献

全国と同様に、三重県でも教師不足が深刻な課題となっています。特に紀伊半島南部の地域は、教師不足に加え、新任教員が着任しても、初任者研修の期間が終わると都市部に戻ってしまうという状況があり、教員がなかなか定着しないことも課題となっています。さらには、大学進学時だけでなく、高校進学の時点でも若者の地域外流出が起き、悩ましい問題となっていました。

これらの課題に教員養成の立場から貢献すべく、大学が三重県各地にサテライトキャンパスを展開していくのに呼応して、平成29年に三重大学東紀州サテライト教育学舎を開設し、教育を介した地域貢献に取り組んでいます。

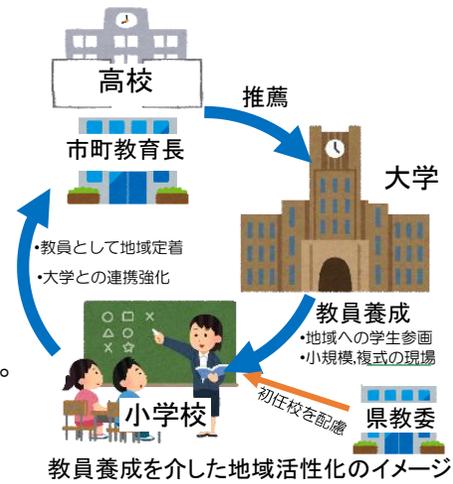
### 地域で育った若者を地域に戻すサイクルの構築

地域の若者、特に教師を目指す若者が地域外に行かずとも進学的不安なく学習でき、教師となった際には地元に戻ってこれるようなサイクルを構築することで、人材の地域外流出を抑制できるのではないかと考え、取り組みを行っています。このサイクルの構築には、入口（入試）、出口（就職）、そして養成（カリキュラム）の三位一体の取り組みが必要です。

入試については、地域推薦を行っています。地域の教育委員会と協議を重ね、受験を希望する受験生に対し、市町の教育長が面談を行い、推薦をしてもらう方式を採っています。

在学中には、三重県南部地域の教育課題をテーマとした授業・実習を開講するとともに、南部地域での教育実習を行っており、在学中から小規模校を意識してもらえるようなカリキュラムとしています。

また、県の教育委員会と協議し、学生が教師となった際には三重県南部地域に配属してもらっています。



教員養成を介した地域活性化のイメージ

### 期待できる成果・評価

- 本取組みで入学した学生は、一般入試で入学した学生と比べ教職に対する意識が高く、GPAも高い傾向にあります。結果として、教員就職率も高くなっています。
- 本取組みで教師になった卒業生は、地域の小学校に配属となっており、地域人材を大学で養成し、地域に戻すというサイクルが回り始めています。



小規模校での教育実習の様子

今後、本取組みをさらに充実させ、教員養成を介した地域貢献を推進していきます。